

協議会だより

発行・編集 大阪障害者スポーツ指導者協議会 広報部

大阪市東住吉区長居公園 1-32 大阪市長居障害者スポーツセンター内

TEL 06-6697-1402 FAX 06-6697-8613

http://www.v-aid.org/shidousya/news.html

平成 22 年 7 月 31 日

第 64 号

- 平成 21 年度 年 次 総 会
- 事業報告 事務局**
- 理事会の開催について
協議会の運営体制やボランティア協力体制の調整を行うための理事会を大阪市長居障害者スポーツセンターにて 14 回
- スポーツ大会・イベントの協力
ボランティア活動
- 第 9 回大阪府・大阪市障害者スポーツ大会
- 第 20 回近畿身体障害者水泳選手権記念大会
- 2008 ジャパンパラリンピック水泳競技大会
- 2009 大阪市ふれあい水泳大会
- 2009 ジャパンパラリンピック陸上競技大会
- 2010 国際親善女子車椅子バスケットボール大阪大会
- 全国障害者スポーツ大会への選手派遣時の協力
- 各種委員会等への出席
- 全国障害者スポーツ指導者協議会の総会及び研修会への出席
- 広報部**
- 協議会だより発行
第 61 号・第 62 号・第 63 号

大阪障害者スポーツ指導者協議会会則

一部改正 (→ に改正)

(目的) 第 3 条

本会は(財)日本障害者スポーツ協会(以下「協会」という)制定の障害者スポーツ指導者協議会設置要項第 4 条に規定する「県等」(都道府県・指定都市)の障害者スポーツ指導者協議会として、大阪府及び大阪市(大阪府内)に住所を有する障害者スポーツ指導者を中心に組織し、指導技術の向上と指導相互の親睦及び連携を図ることにより、障害者のスポーツ振興に寄与することを目的とする。

第 2 章 第 6 条

- (1)協会登録の上級、中級又は初級の指導員で、大阪府又は大阪市(大阪府内)に住所を有する者。
- (2)協会登録の上級、中級又は初級の指導員で、大阪府又は大阪市(大阪府内)に住所を有しないが、大阪府下において活動する意思のある者。
- (3)協会に登録はしていないが、大阪府、大阪市、(堺市)等が実施する指導員養成講習を修了した者で、大阪府又は大阪市(大阪府内)において活動する意思のある者。

第 3 章 第 12 条

- (1)理事 10 人から 15 人程度
会員の 1~3%を目安とし、適宜選任することが出来る

研修部

第 1 回研修会 平成 21 年 11 月 7 日 (土)

場所 ファインプラザ大阪

「卓球バレー」

講師 長谷川 尚三 氏
片山 美代子 氏

参加人数 24 名

卓球バレーは、ルールも簡単で動作的にも大きな動きがないので、重度障害者の方でも楽しめるスポーツ。受講者全員が大きな声を出してしまうくらいゲーム性の高さが伺えました。講師の方から卓球バレー用ラケット・ネット・ボール・ルールブックを頂きました。すべてファインプラザ大阪の方に寄贈いたしました。

平成 22 年度 事業計画について

事務局

各種ボランティアの要請・各種発送業務等について迅速に対応・対処することしたい。また、協議会の会員が意欲的にボランティア活動やスポーツ指導をして頂けるよう努力したい。

研修部

全国障害者スポーツ大会の実技を中心に研修を行うこととする。

研修回数は、年 2 回を予定し研修内容は随時決定する。

広報部

平成 21 年度はホームページ・広報誌を平行させ、出来る限り情報を提供したい。

大阪府・大阪市・堺市障害者スポーツ大会

平成 22 年 5 月に障害者スポーツ大会が開催されました。開催競技として陸上競技、卓球競技、サウンドテーブルテニス、水泳、フライングディスク、アーチェリー、ボウリングが行われました。

平成 22 年 10 月 23 日～25 日に開かれる第 10 回全国障害者スポーツ大会(ゆめ半島千葉大会)の選手選考も兼ねています。ボランティアに参加された指導者の方々に感想を頂きました。



フライングディスク

陸上競技 左奈田 満司

平成 22 年 5 月 16 日(日)長居第 2 陸上競技場

当初、天気予報では雨の予想でしたが当日は晴天に恵まれ気持ち良い 1 日でした。

入場者数は相変わらず少なかったがトラック、フィールド競技場の選手達は白熱した競技を展開していました。

今回、私はトラック競技の出発係、兼 競技補助を担当しておりましたが、出場選手男子 85 名、女子 43 名合計 128 名が参加して、午前 11 時 15 分より、100m 走より開始された。

中でも視覚障害者による 50m 走で音をたよりに全力で疾走する選手をサポートしながら恐怖を感じました。走る事さえ儘ならないのに、日頃の練習の成果とはいえ、すごい！心から拍手を送った一日でした

陸上競技 福西 拓也

今年の「第 10 回 大阪府障がい者スポーツ大会 “陸上競技”」は、晴天に恵まれ、昨年に比べて気温が低かったため、選手にとっては競技のしやすい陸上日和となりました。o(≥▽≤o)

この大会は、「第 10 回 全国障害者スポーツ大会」(以下全国大会)の選手選考を兼ねており、選手達は全国大会出場を目指して、白熱した競技をされていました。

さて、今年の全国大会は千葉県で開催されます。「ゆめ半島 千葉大会」の愛称で 10 月 23 日～10 月 25 日の 3 日間開催されます。

☆全国大会の陸上競技種目は全部で 15 種目♪(*^_^)/

- ・競走競技(50m、100m、200m、400m、800m、1500m、スラローム、4×100m リレー)
- ・跳躍競技(走高跳、立幅跳、走幅跳)
- ・投てき競技(砲丸投、ソフトボール投、ジャベリックスロー、ピーンバッグ投)

障害者スポーツ大会特有の種目として

- ①「スラローム」…車いすや電動車いすで障害物をよけながらタイムを競う
 - ②「ジャベリックスロー」…ルールはやり投げと同じでやりの代わりにプラスチック製の競技用具(ターボジャブ)を使用し、飛距離を競う
 - ③「ピーンバッグ投」…乾燥させた大豆等を袋に詰めたものを投げる
 - ④「50m 走(視覚障害の選手)」…ハンドマイクの音を頼りに走る
- などがあります。見る機会がありましたら是非、選手達に声援を送ってあげてください(*^▽^*)

スペシャルオリンピックス (SO) の競技会とは

SO の競技会の特徴：①スペシャルオリンピックスの競技会では、予選落ちはありません。出場したアスリートは全員が決勝に進み、最後まで競技をやり終えた一人ひとりの健闘を称え全員が表彰されます。②アスリートは予選、決勝を問わず常に全力で競技することが求められます。予選で全力を尽くさず、その結果に基づくディビジョニング(組み分け：性別・年齢枠・競技能力)により、決勝で上位に入賞したとしても失格になることがあります。これがオネストエフォートルールです。③国や地域の競争という考えはなく、表彰式でも国歌や演奏や国旗の掲揚はありません。



2010年第5回 スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲーム・大阪 開催にあたって 講師 井上 幹一 氏



アスリート宣誓 スポーツルール第1章

「Let. me win. But it I cannot win, Let. me be brave in the attempt.」 「私に勝利を与えたまえ もし、叶わぬなら挑戦することをたたえさせたまえ」

「わたくしたちは、精一杯力を出して、勝利をめざします。
たとえ、勝たなくてもがんばる勇気を与えてください」

(スペシャルオリンピックス日本が国内大会で行う宣誓)

スポーツプログラム

トレーニングと競技会の提供

- 1週間に1回以上、8週間以上のトレーニングを行う。
- 8週間のプログラムを終えたら、競技会を実施する
競技会の種類・・・競技会は参加者全員のがんばりをルールに従って認め合う場です。
- 競技ごとの発表会、記録会、競技会(プログラム終了時に実施)
- 地区競技会、ブロック競技会、ナショナルゲーム
- 多国招待大会、リージョナル大会、ワールドゲーム など

全員表彰

- 予選はディビジョニング(同程度の競技能力に組み分け)
- 全員が表彰を受ける・・・(1～3位はメダル、4～8位はリボンが授与される。途中棄権や失格の場合は、参加賞リボンが授与される)

競技会のステップ

基本原則

- あらゆる競技能力レベルのアスリートに、次の上位レベルの競技へ参加する機会が等しく与えられます

方法

- 各ディビジョンの1位から抽選
- 定員に満たない場合は、2位のアスリートから準にクォータ(参加枠)が埋まるまで抽選

競技会のゴール

「一人ひとりのアスリートが日常のトレーニング、プログラムで培った力を発揮し、晴れ晴れとした表情で表彰台に立ちます。そして、最終日にはチームが一つとなって閉会式に参列し、会場の人たちに大きく手を振って笑顔で新たな一歩を踏み出す勇気を実感します。」
～全員が勝利者です～

スペシャルオリンピックスの競技

夏季公式スポーツ競技

- 水泳競技・サッカー・テニス・陸上競技・体操競技
- バレーボール・馬術・バスケットボール・ボウリング・ゴルフ・卓球・バドミントン・ポッチャ・ソフトボール
- ローラスケート・自転車・パワーリフティング・ヨット・ハンドボール・柔道

冬季公式スポーツ競技

- アルペンスキー・スピードスケート・スノーシューイング・スノーボード・クロスカントリースキー
- フロアホッケー・フィギュアスケート

準公式スポーツ競技

※フライングディスク(国内のみ)、クリケット、ネットボール、カヤック
※はスペシャルオリンピックス日本での実施競技

スペシャルオリンピックス日本の歴史

- 「スペシャルオリンピックス日本」は熊本に本部を置き 1994年に設立しました。
- 日本では 2009年活動を行っている都道府県が 47になりました。
- 7,816人のアスリートと 15,000人を超えるボランティアが活動を支えています。(2009年度年次報告書より)
- 2006年7月1日より、寄附をされた方が、寄附控除等の税優遇措置を受けられる。認定NPO法人として国税庁より認定を受けました。
- 2007年12月には、特定非営利活動(NPO)法人の認証を東京都より受けています。(熊本県から東京都に本部を移転したため認証先が変更となった)

オリンピックとのつながり

- 国際オリンピック委員会(IOC)と同じ組織ではありませんが、「オリンピック」の名称使用を認められている組織です。
- Special Olympicsには「S」が付いています。これは、日常的なトレーニングから世界大会に至るまで、いつでも世界中のどこかでこの活動が行われているからです。

スペシャルオリンピックスの参加者

- アスリート・・・知的発達障害のある人でSOに登録した人
- ファミリー・・・アスリートの家族
- ボランティア・・・コーチや事務局の仕事をしたり、すべての活動を支援してくれる人
- パートナー・・・ユニファイドスポーツ®と一緒にする人
一人ひとりが大切な参加者です。

大会に参加したアスリートの声(阿倍野区の山田氏)

スペシャルオリンピックスに参加して13年になります。普段、プログラムで活動しているのはフロアホッケー・ボウリング・水泳です。フロアホッケーでは、山形のナショナルゲームで3位になってうれしかったです。ボウリングは、月2回、土曜日にやっています。2ゲームで300点とれるようになりうれしいです。夏は水泳をやっています。夏の合宿にはスポーツとレクリエーションがあります。冬もスキー・モービルの合宿があり参加しています。楽しいです。11月にナショナルゲーム大阪があるので、それに向けていろいろ頑張っています。応援よろしくお願いします。

知的発達障害とは・・・

- 医学的疾患や身体的な特徴ではない
- 知的能力と適応行動が機能的に制限
- 社会環境により変化 支援を必要とする領域は、個々により異なる
- 18歳以下の発症 (アメリカ精神遅滞学会定義より)

プロフィールの視点

- 生活年齢・・・生まれてからの生活年月数
 - 発達年齢・・・一定の指標で測定された発達年齢
 - 知的指数・・・(Intelligence Quotient:IQ)
計算値に従い算出し、修正を加えて決定
 - 日常動作の自立度(ADL) 豊かな生活体験(QOL)
- 以上5項目の総合で個々のプロフィールをまとめる
一番大切なのはQOLです!!

知的発達障害には・・・

- 人口の1～2.5%は出現するといわれている
- ダウン症候群 広汎性発達障害(自閉症) 学習障害(LD)
- 種々の症候群 原因の特定できないもの

具体的な対応は・・・

- 挨拶からはじめよう
- 一緒に動いてみましょう
- いろいろな言葉かけを！きれいな日本語をたくさん
- 選択の機会を・・・
- 自傷、他傷行動について
- 多動行動について
- てんかん発作への対応

手をかけすぎず、目と心は十分に！社会人として、良い見本であって下さい。